関係各位

ハラール推奨メニューに関するお詫びとご報告

202611月2日

生活協同組合連合会大学生協事業連合

このたび、大学生協事業連合が会員生協へ提案していたハラール推奨メニューについて、使用していた牛肉が、大学生協の定める「ハラール推奨料理」の食材基準を満たしていないことが判明いたしました。メーカーへの確認では、当該牛肉について「ハラールではない」との回答を得ています。

まずもって、利用者の皆様、大学関係者の皆様、ならびに会員生協の皆様に多大なご迷惑とご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

大学生協および大学生協事業連合は、組合員の安全・安心を事業活動の最も重要な価値として事業を行っております。また、国籍、文化的背景、宗教的背景を問わず、多様な組合員が安心して利用できる環境づくりを目指してまいりました。

しかしながら今回、事業連合が食材を選定・登録し、ハラール推奨メニューとして造成・提案する過程において、牛肉の起源原料製造時にハラール認証があることを確認するという基準に基づく確認が十分に行われないまま、会員生協へ提案していました。その結果、対象会員生協において基準を満たさないメニューが組合員・利用者へ提供される事態を招きました。

本件は単なる商品情報の誤りではなく、宗教上の信条を踏まえて食事を選択される方々の期待と信頼を損なったものであり、大学生協事業連合として重大に受け止めております。

また本件は、担当者個人及び事業部の確認ミスにとどまるものではなく、受託業務を適切に遂行するための確認体制や管理の仕組みを構築・運用できていなかった、事業連合の組織としての問題であると認識しております。

現在、対象メニューの提供停止をお願いするとともに、対象となる商品、店舗、提供期間及び提供食数の確認、発生経緯の調査並びに原因分析を進めております。あわせて、以下の再発防止策を検討しております。

- 食材登録手順及び食材変更時の確認手続の見直し
- ハラール対応食材リスト及び確認資料の管理強化
- メニュー登録時の確認ルールの整備
- 管理者を含む複数人による確認工程の追加
- 同種メニューの横断点検及び関係職員への教育の実施

また、会員生協の皆様が大学及び組合員・利用者に対する説明や問い合わせ対応を行うにあたり、事業連合として統一的な説明文書、想定問答及び対応方針を準備し、必要な情報提供と支援を行ってまいります。

日本語・英語に対応する専用相談窓口の設置を事業連合で準備しております。連絡先や受付開始日・受付時間等の詳細は、準備が整い次第、こちらも改めてご案内いたします。また、対象商品を購入された方への対応については、お申し出に基づき購入代金の全額を返金することを基本方針として、会員生協の皆様と連携し、共通の手順を準備しております。申請方法や受付開始日等の詳細は、準備が整い次第、こちらも改めてご案内いたします。

事実関係、原因及び再発防止策については、取りまとめ次第、改めてご報告いたします。

このたびは誠に申し訳ございませんでした。

以上

【補足】大学生協事業連合と会員生協について

・各大学の生協（会員生協）は、学生・教職員等を組合員として食堂や購買店舗を運営しています。大学生協事業連合は、会員生協とは別の法人で、商品企画・共同仕入れ等を担う連合会です。本件の食材選定・登録及びメニューの開発・提案は、会員生協から委託を受けた事業連合が担っています。

大学生協事業連合ホームページ　https://www.univ.coop/